



2020年8月4日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
 (JASDAQ・コード番号 : 2777)
 問合せ先 取締役 執行役員 管理部長 小林 要介
 電 話 03 - 6439 - 1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、2020年2月10日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	6,500	160	150	30	7 91
今回発表予想(B)	5,630	367	363	177	46 80
増減額(B) - (A)	870	207	213	147	
増減率(%)	13.4	129.3	142.0	490.0	
(ご参考)前年同期実績 2019年12月期第2四半期実績	5,761	35	32	368	97 15

2. 2020年12月期累計期間(2020年1月1日～2020年12月31日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A)	13,500	700	670	290	76 43
今回発表予想(B)	11,000	530	515	230	60 61
増減額(B) - (A)	2,500	170	155	60	
増減率(%)	18.5	24.3	23.1	20.7	
(ご参考)前年同期実績 2019年12月期実績	12,263	522	513	56	14 79

3. 業績予想の修正理由

(2020年12月期第2四半期)

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために、グループ3社の店舗、ショールームを一定期間臨時休業にしたほか、取引先企業の社員が長期間に渡って在宅勤務となったことから新しいプロジェクトの商談が進展しなかったことが主たる要因となり、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

一方、利益につきましては、付加価値の高い商品の販売に注力し、値引き販売を抑制したことから粗利率が改善したほか、一般管理販売費の削減に努めて利益の確保を図ったことが主たる要因となり、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(2020年12月期累計期間)

売上高につきましては、グループ3社の第2四半期までの売上高が予想を下回ったことに加えて、第3四半期、第4四半期に売上転化を予定していた一部の取引の納品時期が、新型コロナウイルス感染症の影響によって翌年以降に延期になったり、商談中のプロジェクトのスケジュールが見直されたりした影響を織り込んで、前回発表予想を下方修正するものであります。

利益につきましても、売上高の下方修正に加えて、一般管理販売費が第3四半期以降は第2四半期までと比較して増加することが見込まれるため、前回発表予想を下方修正するものであります。

なお、2020年12月期の年間配当金の予想(期末に1株当たり30円)については、変更いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上